



平成 29 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 大日本住友製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 多田 正世  
(コード: 4506 東証第 1 部)  
問合せ先 執行役員  
エグゼクティブコミュニケーションオフィサー 樋口 敦子  
(大阪: TEL. 06-6203-1407)  
(東京: TEL. 03-5159-3300)

### 剰余金の配当(特別配当を含む)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 29 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて、平成 29 年 6 月 22 日開催予定の当社第 197 期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 28 年 5 月 11 日 公表)	前期実績 (平成 28 年 3 月期)
基準日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	11 円 00 銭 (普通配当 9 円 00 銭) (特別配当 2 円 00 銭)	9 円 00 銭	9 円 00 銭
配当金の総額	4,370 百万円	—	3,575 百万円
効力発生日	平成 29 年 6 月 23 日	—	平成 28 年 6 月 24 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 理由

当社は、株主の皆様へ常に適切な利益還元を行うことを最も重要な経営方針の一つとして位置付けております。配当につきましては、業績に裏付けられた成果を適切に配分することを重視するとともに、企業価値のさらなる向上に向け、将来の成長のための積極的な投資を行いつつ、強固な経営基盤の確保と財務内容の充実を図ることなどを総合的に見極め、決定してまいります。また、株主の皆様へ安定的な配当を継続することにも配慮してまいります。

当期(平成 29 年 3 月期)の業績は、「ラツーダ」の伸長等により、第三期中期経営計画の平成 29 年度(平成 30 年 3 月期)経営目標である営業利益 500 億円を 1 年前倒しで達成するとともに、当社発足以来の最高益となりました。

株主の皆様への利益還元に関する基本方針および当期の業績を踏まえ、当期の期末配当については、1 株あたり普通配当 9 円に特別配当 2 円を加えて 11 円とすることを、第 197 期定時株主総会に付議することといたしました。これにより、中間配当金を含めた年間配当金は、1 株につき 20 円となります。

(ご参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	9円00銭	11円00銭	20円00銭
前期実績 (平成28年3月期)	9円00銭	9円00銭	18円00銭

以上